

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 27 年 2 月 19 日 (2015.2.19)

【公開番号】特開 2014-100294 (P2014-100294A)
 【公開日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-029
 【出願番号】特願 2012-254055 (P2012-254055)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 25 日 (2014.12.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

図柄変動ゲームを実行する表示装置を備え、前記図柄変動ゲームにて特定図柄を導出した際に特定遊技状態を付与する遊技機において、

前記特定図柄が導出される可能性があることを予告する複数種類の特定の予告演出を含む予告演出を前記図柄変動ゲームに伴わせるための制御を行う予告制御手段と、

前記特定の予告演出に対して規定ゲーム数を個々に設定する規定数設定手段と、

前記図柄変動ゲームの実行回数が、個々に設定された前記規定ゲーム数に達しているか否かを判定する予告判定手段と、備え、

前記予告制御手段は、前記予告判定手段が前記規定ゲーム数に達していると判定している前記特定の予告演出を前記規定ゲーム数に達していない場合よりも伴わせ難くすることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記特定の予告演出に対して設定可能な前記規定ゲーム数の上限回数は、個々で異なるように構成された請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記規定数設定手段は、前記可能性の高低に関し、該可能性の低い前記特定の予告演出に対しては該可能性の高い前記特定の予告演出よりも前記規定ゲーム数として小さい回数を設定する請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記特定の予告演出には、前記可能性の高低に関し、該可能性の最も高い前記予告演出以外を含んで構成される請求項 1 ~ 請求項 3 のうちいずれか一項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、図柄変動ゲームにて特定図柄を導出した際に特定遊技状態を付与する遊技機に関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決する遊技機は、図柄変動ゲームを実行する表示装置を備え、前記図柄変動ゲームにて特定図柄を導出した際に特定遊技状態を付与する遊技機において、前記特定図柄が導出される可能性があることを予告する複数種類の特定の予告演出を含む予告演出を前記図柄変動ゲームに伴わせるための制御を行う予告制御手段と、前記特定の予告演出に対して規定ゲーム数を個々に設定する規定数設定手段と、前記図柄変動ゲームの実行回数が、個々に設定された前記規定ゲーム数に達しているか否かを判定する予告判定手段と、備え、前記予告制御手段は、前記予告判定手段が前記規定ゲーム数に達していると判定している前記特定の予告演出を前記規定ゲーム数に達していない場合よりも伴わせ難くするようにした。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記遊技機について、前記特定の予告演出に対して設定可能な前記規定ゲーム数の上限回数は、個々で異なるように構成することが好ましい。

上記遊技機について、前記規定数設定手段は、前記可能性の高低に関し、該可能性の低い前記特定の予告演出に対しては該可能性の高い前記特定の予告演出よりも前記規定ゲーム数として小さい回数を設定することが好ましい。